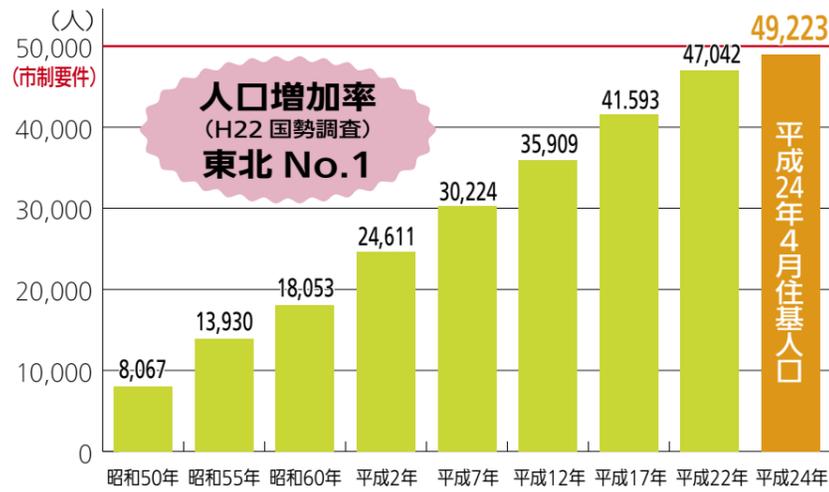


富谷町の国勢調査人口の推移



人口増加率	順位
64.2%	全国19位
72.7%	全国8位
29.6%	全国21位
36.3%	全国8位
22.8%	全国24位
18.8%	全国7位
18.8%	全国8位
13.1%	全国7位

平成22年国勢調査より

- 15歳未満 年少人口率 19.7% (高い方から)全国 6位
- 65歳以上 高齢人口率 13.7% (低い方から)全国 5位
- 平均年齢 39.2歳 (若い方から)全国11位

■国勢調査人口の推移
 上の表のとおり、富谷町の人口は増加を続けています。その要因としては、宅地や道路、教育環境などの生活基盤の整備が進み、都市としての魅力が拡大し、住みやすさが評価されていることが挙げられます。

このため、平成27年国勢調査では、前回の国勢調査(平成22年)と同程度の人口増加が見込まれ、人口5万人を超えることが確実視されます。

■国勢調査人口の推移
 住民基本台帳法に基づき、市町村に備えてある住民基本台帳に記載されている人数です。

※現在、外国人の数は含まれていませんが、住民基本台帳法が一部改正され、平成24年7月9日より、外国人も住民基本台帳に登録されることとなります。

■国勢調査人口の推移
 全国的な調査のため、集計には時間がかかりますが、実際に住んでいる人数を表すには、最も信頼性が高い数値となっており、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる大切なデータです。

また、国勢調査人口は、住民基本台帳に記載されていても、町内に常住している人数となりますので、住民基本台帳人口と一致することはありません。

5万人都市へ、そして市制移行へキックオフ宣言

4月2日(月)、年度始めの町長訓示において、若生町長が「富谷町の方向性として、間もなく到達する人口5万人、来年の町制施行50周年、そして、平成27年の国勢調査を経て、平成28年の市制移行へ向かいます。」と、5万人都市、市制移行へ向けたキックオフ宣言を行いました。

町では平成28年の市制移行を視野に入れた、自立した5万人都市の実現を目指し、活力と自立性に富んだまちづくりを進めていきます。



団地の開発、分譲が進む明石台東地区。

市制と人口について

■国勢調査人口と
 住民基本台帳の人口の違い
 市制の要件の一つ「人口が5万人以上であること」は、日本に住むすべての方を対象に実施される国勢調査において、集計された人数が基準となります。

一方、毎月の広報や町ホームページ

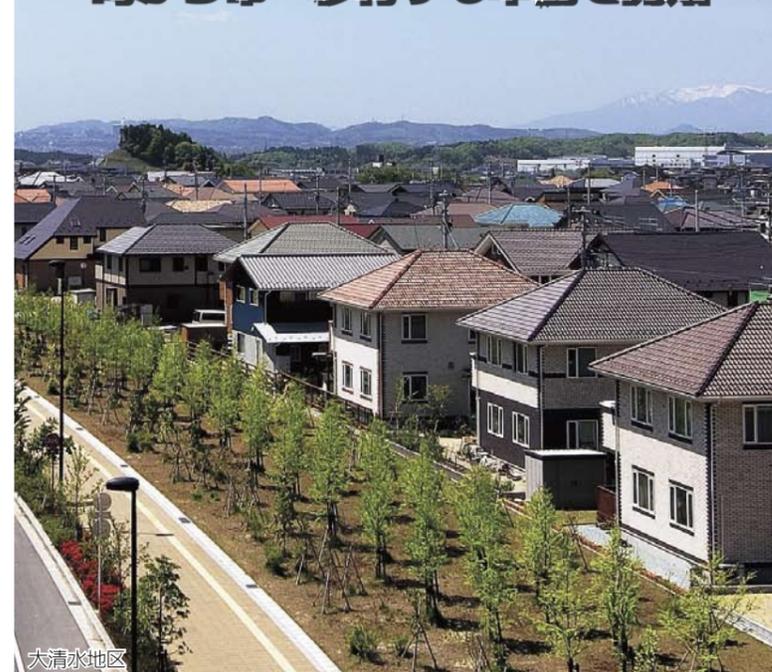
に掲載している人口は、富谷町住民基本台帳に記載されている人数です。

■国勢調査人口
 全国で一斉に、5年に1度実施される国勢調査の集計人数です。

10月1日を基準日として、外国人も含めて調査時に調査区域内に常住している人(3カ月以上住んでいる、または住む予定の人)すべてが調査の対象となります。

特集 5万人都市へ、そして市制移行へキックオフ!

～町から市へ移行する準備を開始～



大清水地区

富谷町の人口は、平成24年4月15日現在、49,223人となり、今後も着実に増加傾向が続くと予想されます。

これまでの人口増加の推移から、今年度中に人口5万人到達が見込まれ、単独で市になるための主要な要件を満たし、平成27年に行われる国勢調査を経て、市制移行への手続きに入る予定としています。

町では、4月2日の平成24年度の仕事始めにあたり、「5万人都市へ、そして市制移行へキックオフ」宣言を行い、自立した5万人都市、市制に移行する準備を開始しました。

今後、広報等を通じて、取組みの状況を広く町民の皆さんにお知らせしていきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

今月号では、市制と人口の関係や国勢調査による人口の推移などをお知らせします。



今月の表紙
 4月9日(月)、町立小学校7校で入学式が行われ、646名の子どもたちが入学しました。おめでとうございます。

表紙写真は、入学式終了後に教室で、担任の先生の話聞く日吉台小学校の新1年生。

目次 CONTENTS

- 2 特集
5万人都市へ、そして市制移行へキックオフ!～町から市へ移行する準備を開始～
- 6 富谷町学校給食センターの開所記念式典を開催しました
- 7 町長日記
町長随想「幸・輝」No.49
- 8 平成24年度 住民検診のお知らせ
- 10 輝人(きりりびと) No.42
みやぎ生活協同組合 明石台店 店長
- 11 ブカツのチカラ
富谷中学校 女子バスケットボール部
- 12 まち日記
- 14 けんこうライフ
- 18 とみやスポーツちゃんねる
- 19 情報ひろば
- 24 富谷あったか探検隊 No.2
富谷のっておきレシピ②

まちの人口

(4/15現在)

人口	49,223人 (+29)
男	24,242人 (+16)
女	24,981人 (+13)
世帯数	16,853世帯 (+48)

※()内は前月比

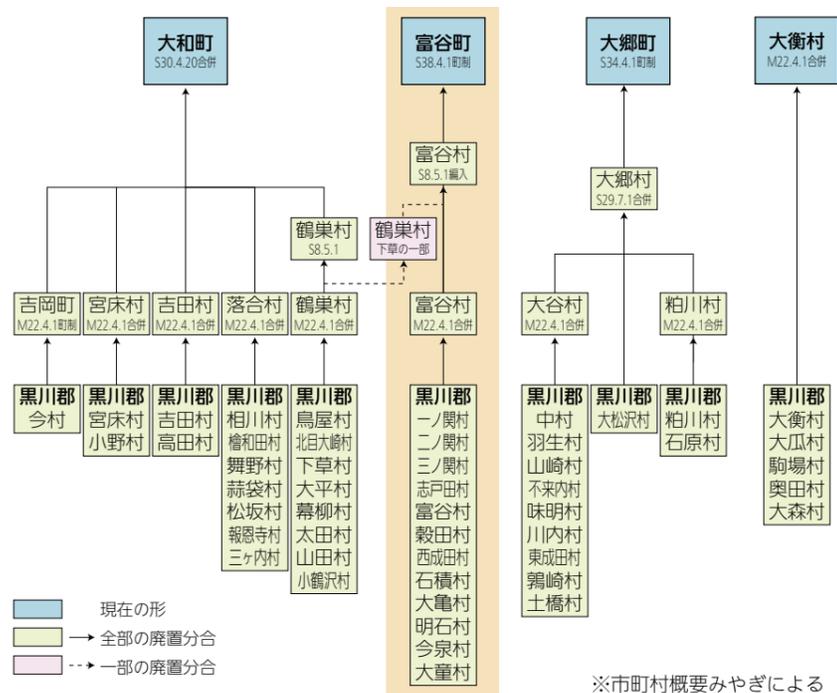
全国5万人規模町村自治体の動向（町村人口上位7自治体）

国勢調査により、人口5万人を超えた自治体は、単独での市制移行を表明しています。また、人口5万人規模の自治体は、国・県から移譲される権限に町村と市に差異が出るなど、地方分権が一層進展する中、市制移行への準備は、町民の福祉向上と町の発展に資するものです。

推計人口順位	都道府県名	市町村名	平成22年国勢調査人口	平成23年推計人口 <small>※平成23年10月1日現在</small>	市制移行予定日等	
1	岩手県	たきざわむら 滝沢村	53,857人	54,219人	平成26年1月移行	市制移行を表明
2	埼玉県	しらおかまち 白岡町	50,272人	50,449人	平成24年10月1日	
3	広島県	ふちゅうちょう 府中町	50,442人	50,403人	広島市・府中町合併協議会を廃止し、市制移行を検討	
4	千葉県	おおあみしらさとまち 大網白里町	50,113人	50,116人	平成23年4月市制準備室設置	
5	福岡県	なかがわまち 那珂川町	49,780人	49,924人	平成24年4月経営企画課内に市制対策担当を設置	
6	愛知県	ひがしうらちょう 東浦町	49,800人	49,778人	市制移行を表明	
7	宮城県	とみやまち 富谷町	47,042人	48,269人	平成28年4月移行予定	
参考	石川県	のいちまち 野々市町 のいちし 野々市市	51,885人	52,931人	平成23年11月11日市制施行	次回国勢調査結果後の市制移行準備
	愛知県	ながくてちやう 長久手町 ながくてし 長久手市	52,022人	52,882人	平成24年1月4日市制施行	

※各市町村ホームページ等による

黒川郡の町村合併の歴史



推計人口：直近の国勢調査確定人口を基に、その後の人口増減数(出生・死亡・転入・転出)を加えたもの。国勢調査人口に基づいた数値であるため、「常住人口」や「現住人口」とも呼ばれ、実際に住んでいる人の数を表すには、信頼性が高いものです。

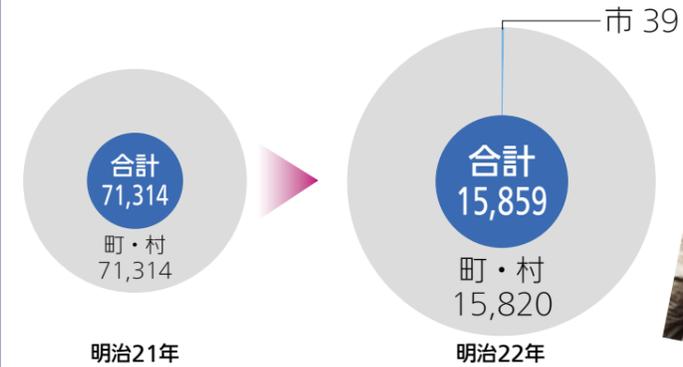


富谷町の全国における位置付け

平成の大合併後、平成22年には市と町の数で逆転し、自治体の在り方、自立性が問われる時代となりました。明治22年に12村合併による「富谷村」として発足して以来、合併することなく発展を続けてきた富谷町は、全国の932町村中、第7位の人口規模となるまでに成長してきました。

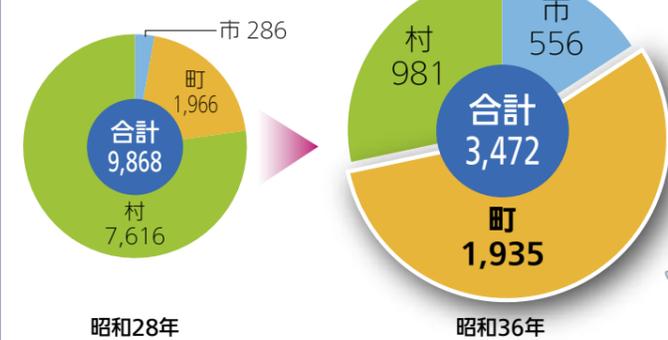
明治22年「明治の大合併」

自然集落を市制町村制施行に伴い、行政上の目的にあった規模としたもの。全国の町村数は、約5分の1になりました。



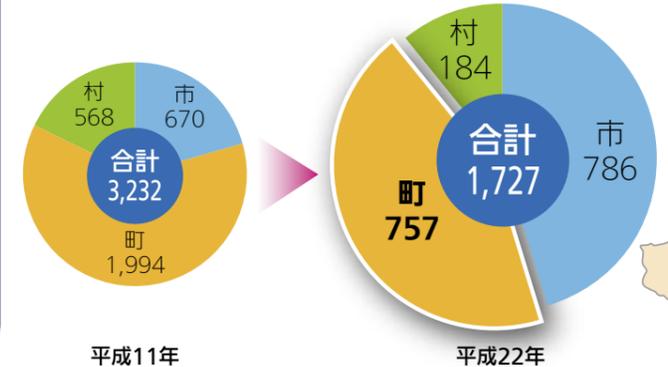
昭和28年「昭和の大合併」

戦後の市町村の役割の変化に伴い、新制中学校区規模8,000人を目標としたもの。全国の市町村数は、約3分の1になりました。



平成22年「平成の大合併」

地方分権の受け皿として、市町村の行財政基盤の強化を図るため自主的な合併を推進しました。



全国の市町村数の変遷と明治・昭和・平成の大合併の特徴